

カリキュラム・マップ2026【理学部・化学科・生命科学科】

DP1	化学や生命科学を学ぶ中で形成された思考力・判断力を高めるとともに、倫理観と責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での化学や生命科学の学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	化学や生命科学の専門に関する学びを通して、実社会における他の自然科学や科学技術の発展に、主体的かつ協動的に貢献するための化学の知識・技能の基礎を有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
全学共通基盤科目	●	協創力体験演習Ⅰ	必修	1	◎	◎	
全学共通基盤科目	●	協創力体験演習Ⅱ	必修	1	◎	◎	
全学共通基盤科目	●	協創力実践演習	必修	1	◎	◎	
基本科目	●	フレッシュマンセミナー	必修	1			◎
基本科目	●	科学実験入門	必修	1			◎
基本科目	●	コミュニケーションのための基礎英語A	必修	1		◎	
基本科目	●	コミュニケーションのための基礎英語B	必修	1		◎	
基本科目		キャリアデザイン	選択	2			○
専門科目	●	分子と物質	必修	1			◎
専門科目	●	基礎有機化学	必修	1			◎
専門科目	●	基礎無機化学	必修	1			◎
専門科目	●	基礎エネルギー科学	必修	1			◎
専門科目	●	基礎生化学	必修	1			◎
専門科目	●	基礎生物学実験	必修	2			◎
専門科目	●	基礎化学実験	必修	2			◎
専門科目	●	分析化学実験	必修	2			◎
専門科目	●	物理化学実験(コンピュータ活用を含む)	必修	3			◎
専門科目	●	有機化学実験	必修	3			◎
専門科目	●	生命科学実験	必修	3			◎
専門科目	●	化学・生命科学特論A	必修	4			◎
専門科目	●	化学・生命科学特論B	必修	4			◎
専門科目	●	卒業研究	必修	4	◎	◎	◎
専門科目		化学・生命科学のための数学ⅠA	選択	1			◎
専門科目		化学・生命科学のための数学ⅠB	選択	1			◎
専門科目		基礎生物学	選択	1			◎
専門科目		生命科学入門	選択	1			◎
専門科目		振動と波動	選択	1			◎
専門科目		エネルギー科学入門	選択	1			◎
専門科目		身近な自然科学A	選択	1			◎
専門科目		身近な自然科学B	選択	1			◎
専門科目		情報科学序論	選択	2			◎
専門科目		コンピュータ入門(演習含む)	選択	2			◎
専門科目		生物学概論	選択	2			◎
専門科目		物理学概論	選択	2			◎
専門科目		地図環境	選択	2	○		
専門科目		化学・生命科学のための数学ⅡA	選択	2			◎
専門科目		化学・生命科学のための数学ⅡB	選択	2			◎
専門科目		物理学実験(コンピュータ活用を含む)	選択	2			○
専門科目		地学実験(コンピュータ活用を含む)	選択	2			○
専門科目		原子・分子の構造入門	選択	2			◎
専門科目		化学反応と熱力学	選択	2			◎

カリキュラム・マップ2026【理学部・化学科・生命科学科】

DP1	化学や生命科学を学ぶ中で形成された思考力・判断力を高めるとともに、倫理観と責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での化学や生命科学の学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	化学や生命科学の専門に関する学びを通して、実社会における他の自然科学や科学技術の発展に、主体的かつ協働的に貢献するための化学の知識・技能の基礎を有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
専門科目		無機化学A	選択	2			◎
専門科目		無機化学B	選択	2			◎
専門科目		分析化学A(データサイエンスを含む)	選択	2			◎
専門科目		分析化学B	選択	2			◎
専門科目		有機化学ⅠA	選択	2			◎
専門科目		有機化学ⅠB	選択	2			◎
専門科目		生化学A	選択	2			◎
専門科目		生化学B	選択	2			◎
専門科目		細胞生物学A	選択	2			◎
専門科目		細胞生物学B	選択	2			◎
専門科目		スペクトル解析と量子論	選択	3			◎
専門科目		有機化学ⅡA	選択	3			◎
専門科目		有機化学ⅡB	選択	3			◎
専門科目		錯体化学	選択	3			◎
専門科目		機器分析化学	選択	3			◎
専門科目		科学英語A	選択	3		○	◎
専門科目		科学英語B	選択	3		○	◎
専門科目		物質取扱技術	選択	3			◎
専門科目		機能有機化学	選択	3			◎
専門科目		固体化学	選択	3			◎
専門科目		細胞生理学	選択	3			◎
専門科目		バイオ技術	選択	3			◎
専門科目		情報科学A	選択	3			◎
専門科目		情報科学B	選択	3			◎
専門科目		理科教育演習	選択	3			○
専門科目		環境科学Ⅰ	選択	3			◎
専門科目		分子生物学	選択	3			◎
専門科目		科学と社会	選択	3			◎
専門科目		環境生物学	選択	3			◎
専門科目		遺伝学(バイオインフォマティクス含む)	選択	3			◎
専門科目		応用微生物学	選択	3			◎
専門科目		動物生理学	選択	3			◎
専門科目		植物生理学	選択	3			◎
関連科目		古典と思想	選択	1	△		
関連科目		思想と人間	選択	1	△		
関連科目		倫理とは何か	選択	1	○		
関連科目		倫理と社会	選択	1	○		
関連科目		論理と真理	選択	1	△		
関連科目		合理的思考	選択	1	△		
関連科目		近世の日本史Ⅰ	選択	1	△		
関連科目		近世の日本史Ⅱ	選択	1	△		

カリキュラム・マップ2026【理学部・化学科・生命科学科】

DP1	化学や生命科学を学ぶ中で形成された思考力・判断力を高めるとともに、倫理観と責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での化学や生命科学の学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	化学や生命科学の専門に関する学びを通して、実社会における他の自然科学や科学技術の発展に、主体的かつ協働的に貢献するための化学の知識・技能の基礎を有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		日本の文学 I	選択	1	△		
関連科目		地域と風土	選択	1	△		
関連科目		地域と生産	選択	1	△		
関連科目		現代社会と法 I (日本国憲法)	選択	1	○		
関連科目		現代社会と法 II (国際法を含む)	選択	1	○		
関連科目		文化研究	選択	1	△		
関連科目			選択	1	△		
関連科目		社会学A	選択	1	△		
関連科目		社会学B	選択	1	△		
関連科目		心理学 I	選択	1	△		
関連科目		心理学 II	選択	1	△		
関連科目		統計 I	選択	1	△		
関連科目		統計 II	選択	1	△		
関連科目		ジェンダー文化論	選択	1	△	△	
関連科目		世界の中の日本	選択	1	△	△	
関連科目			選択	1	△	△	
関連科目		地域と大学	選択	1	△		
関連科目		グローバル社会と女性	選択	1		△	
関連科目		女性とダイバーシティ(女性の働き方)	選択	1		△	
関連科目		女性とキャリアデザイン(女性と企業)	選択	1		△	
関連科目		国際グローバル研修	選択	1		△	
関連科目		自校史研究(建学の精神と大学の理念)	選択	1	△		
関連科目		コンピュータ・リテラシー I	選択	1	△		
関連科目		English Communication I A	選択	1		○	
関連科目		English Communication I B	選択	1		○	
関連科目		資格英語 I A	選択	1		○	
関連科目		資格英語 I B	選択	1		○	
関連科目		資格英語 II A	選択	1		○	
関連科目		資格英語 II B	選択	1		○	
関連科目		資格英語 III A	選択	1		○	
関連科目		資格英語 III B	選択	1		○	
関連科目		Public Communication I A	選択	1		○	
関連科目		Public Communication I B	選択	1		○	
関連科目		Oral English I A	選択	1		○	
関連科目		Oral English I B	選択	1		○	
関連科目		ドイツ語 I A	選択	1		○	
関連科目		ドイツ語 I B	選択	1		○	
関連科目		フランス語 I A	選択	1		○	
関連科目		フランス語 I B	選択	1		○	
関連科目		中国語 I A	選択	1		○	
関連科目		中国語 I B	選択	1		○	

カリキュラム・マップ2026【理学部・化学科・生命科学科】

DP1	化学や生命科学を学ぶ中で形成された思考力・判断力を高めるとともに、倫理観と責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での化学や生命科学の学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	化学や生命科学の専門に関する学びを通して、実社会における他の自然科学や科学技術の発展に、主体的かつ協働的に貢献するための化学の知識・技能の基礎を有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		中国語集中トレーニングⅠA	選択	1		○	
関連科目		中国語集中トレーニングⅠB	選択	1		○	
関連科目		韓国語ⅠA	選択	1		○	
関連科目		韓国語ⅠB	選択	1		○	
関連科目		生涯スポーツ論	選択	1		○	
関連科目		データサイエンス入門	選択	1		○	
関連科目		海外研修Ⅰ	選択	1		○	
関連科目		海外研修Ⅱ	選択	1		○	
関連科目		海外研修Ⅲ	選択	1		○	
関連科目		海外研修Ⅳ	選択	1		○	
関連科目		教養英語A	選択	1		○	
関連科目		教養英語B	選択	1		○	
関連科目		留学英語A	選択	1		○	
関連科目		留学英語B	選択	1		○	
関連科目		英語集中トレーニングA	選択	1		○	
関連科目		英語集中トレーニングB	選択	1		○	
関連科目		スペイン語A	選択	1		○	
関連科目		スペイン語B	選択	1		○	
関連科目		ハンガリー語A	選択	1		○	
関連科目		ハンガリー語B	選択	1		○	
関連科目		ポーランド語A	選択	1		○	
関連科目		ポーランド語B	選択	1		○	
関連科目		チェコ語A	選択	1		○	
関連科目		チェコ語B	選択	1		○	
関連科目		マレー語A	選択	1		○	
関連科目		マレー語B	選択	1		○	
関連科目		地学A	選択	1			○
関連科目		地学B	選択	1			○
関連科目		健康スポーツⅠA	選択	1	△		
関連科目		健康スポーツⅠB	選択	1	△		
関連科目		健康スポーツⅡA	選択	1	△		
関連科目		健康スポーツⅡB	選択	1	△		
関連科目		スポーツ・マネジメント概論	選択	1	△		
関連科目		物理学A	選択	1			◎
関連科目		物理学B	選択	1			◎
関連科目		数学A	選択	1			△
関連科目		数学B	選択	1			△
関連科目		論理回路入門	選択	2			△
関連科目		English CommunicationⅡA	選択	2		○	
関連科目		English CommunicationⅡB	選択	2		○	
関連科目		Oral EnglishⅡA	選択	2		○	

カリキュラム・マップ2026【理学部・化学科・生命科学科】

DP1	化学や生命科学を学ぶ中で形成された思考力・判断力を高めるとともに、倫理観と責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での化学や生命科学の学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	化学や生命科学の専門に関する学びを通して、実社会における他の自然科学や科学技術の発展に、主体的かつ協動的に貢献するための化学の知識・技能の基礎を有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		Oral English II B	選択	2		○	
関連科目		ドイツ語II A	選択	2		○	
関連科目		ドイツ語II B	選択	2		○	
関連科目		フランス語II A	選択	2		○	
関連科目		フランス語II B	選択	2		○	
関連科目		中国語II A	選択	2		○	
関連科目		中国語II B	選択	2		○	
関連科目		中国語集中トレーニングII A	選択	2		○	
関連科目		中国語集中トレーニングII B	選択	2		○	
関連科目		韓国語II A	選択	2		○	
関連科目		韓国語II B	選択	2		○	
関連科目		健康スポーツIII A	選択	2		○	
関連科目		健康スポーツIII B	選択	2		○	
関連科目		IT論入門	選択	3		○	
関連科目		日本語特殊演習I A	選択	3		△	
関連科目		日本語特殊演習I B	選択	3		△	
関連科目		日本語特殊演習II A	選択	3		△	
関連科目		日本語特殊演習II B	選択	3		△	
関連科目		日本語特殊演習III A	選択	3		△	
関連科目		日本語特殊演習III B	選択	3		△	
関連科目		日本語特殊演習IV A	選択	3		△	
関連科目		日本語特殊演習IV B	選択	3		△	
関連科目		データサイエンスと数理統計	選択	3			△
関連科目		機械学習とAI	選択	3			△
関連科目		データサイエンス特別講義I	選択	3			△
関連科目		データサイエンス特別講義II	選択	3			△
関連科目		応用AIプログラミング	選択	3			△
関連科目		社会科学におけるデータサイエンス	選択	3			△
関連科目		ゲーム理論とAI	選択	3			△
関連科目		応用計量経済学	選択	3			△
関連科目		金融データ分析	選択	3			△
自由科目		教職論	選択	1	△		
自由科目		教育学概論A	選択	1	△		
自由科目		スチューデント・インターンシップI	選択	2	△		△
自由科目		スチューデント・インターンシップII	選択	2	△		△
自由科目		学校と図書館	選択	2	△		
自由科目		ジェンダー・教育・ダイバーシティ	選択	2	△	△	
自由科目		教育学概論B	選択	2	△		
自由科目		教育心理学	選択	2	△		
自由科目		生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)	選択	2	△		
自由科目		道徳教育の理論と指導法	選択	2	△		

カリキュラム・マップ2026【理学部・化学科・生命科学科】

DP1	化学や生命科学を学ぶ中で形成された思考力・判断力を高めるとともに、倫理観と責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での化学や生命科学の学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	化学や生命科学の専門に関する学びを通して、実社会における他の自然科学や科学技術の発展に、主体的かつ協働的に貢献するための化学の知識・技能の基礎を有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
自由科目		特別支援教育	選択	2	△		
自由科目		教育史	選択	2	△		
自由科目		教育方法及びICT指導法	選択	2	△		
自由科目		教育課程論(総合的な学習・探究の時間の指導法を含む)	選択	2	△		
自由科目		理科教育法A	選択	3	△		△
自由科目		理科教育法B	選択	3	△		△
自由科目		教育相談(カウンセリングを含む)	選択	3	△		
自由科目		特別活動論	選択	3	△		
自由科目		理科教育法C	選択	3	△		△
自由科目		理科教育法D	選択	3	△		△
自由科目		介護等体験実習(事前及び事後指導を含む)	選択	3			△
自由科目		教育実習Ⅰ(事前及び事後指導を含む)	選択	4			△
自由科目		教育実習Ⅱ	選択	4			△
自由科目		教職実践演習(中・高)	選択	4			△